



# テクニカル・メッセージ

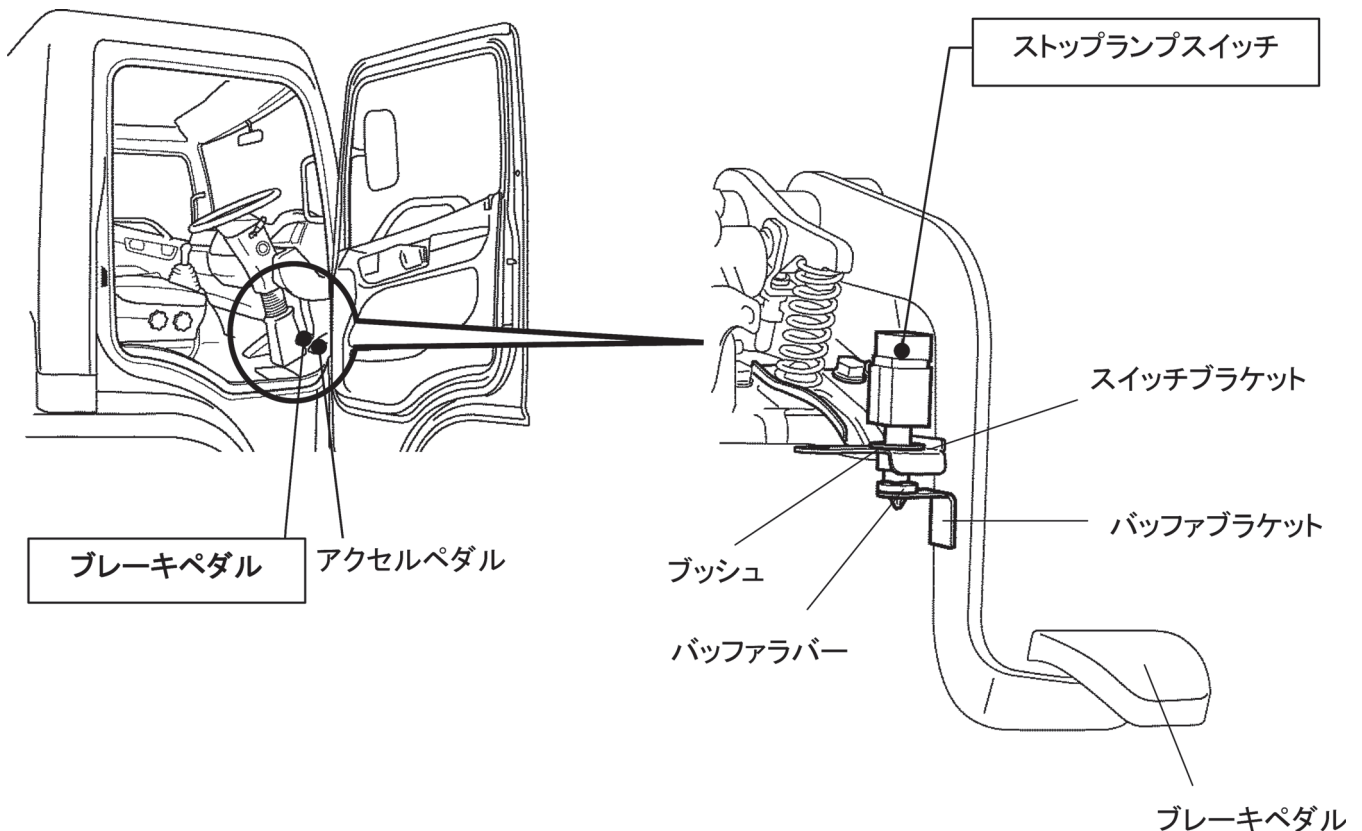
## 大型・中型トラック ストップランプスイッチ組み付け時の留意点について

ブレーキペダルに装着するストップランプスイッチの交換を行う際に、組み付け方法を誤るとブレーキの引き摺りが発生し、最悪の場合、車両火災に至るおそれがあります。ストップランプスイッチの交換を行う際は、作業要領書に従い、正しい組み付けを行い、組み付け後の確認を実施していただきますようお願い致します。

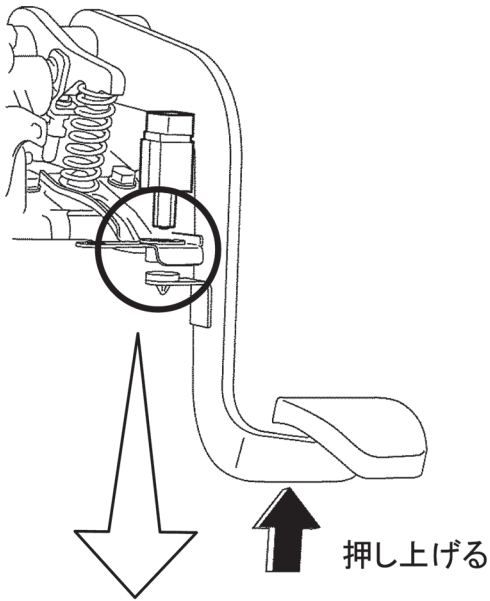
### ■対象車両

- ・大型トラック(排出ガス規制記号 KS、PK以降の車両)
- ・中型トラック(排出ガス規制記号 KL以降の車両)

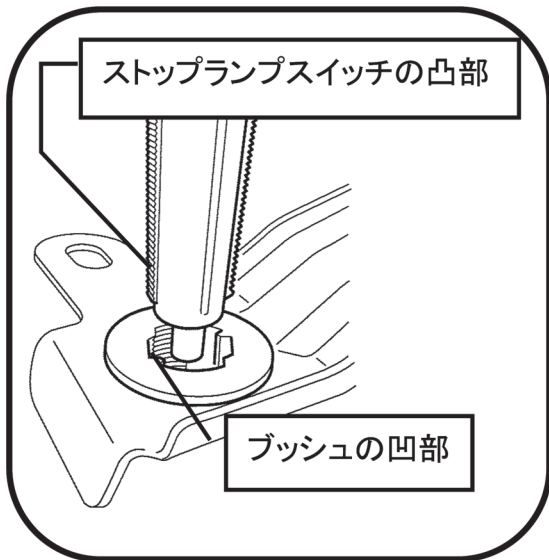
### ■ストップランプスイッチの周辺部位(大中型共、同内容)



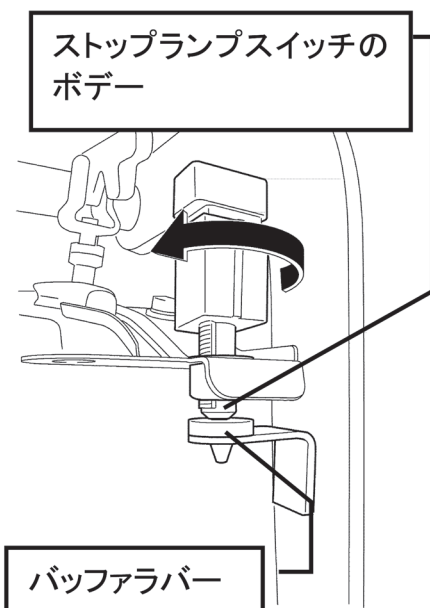
■組み付け要領と組み付け後の確認要領



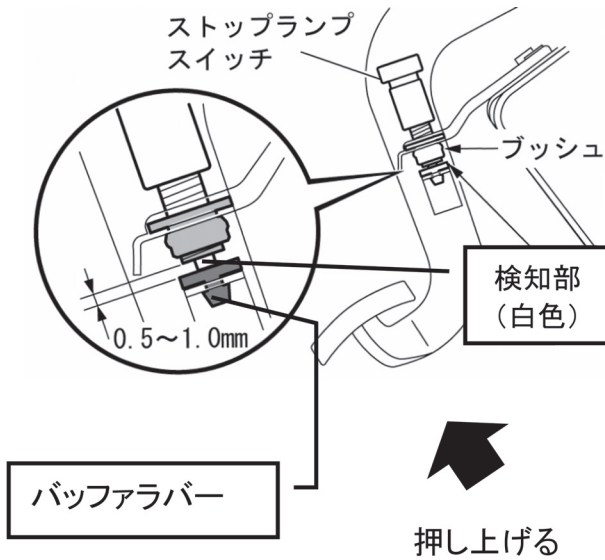
①ブレーキペダルが下がらないように、手でブレーキペダルを押し上げる。



②ブッシュとストップランプスイッチの凹凸部を合わせる。



③ストップランプスイッチのボデーがバッファラバーに押し当たるまで挿入し、当てた状態で右へロックするまで回し固定する(約1/8回転)。



④シクネスゲージ等を使用して、ストップランプスイッチのボデーとバッファラバーのすき間を測定し、基準値外の場合は再度スイッチを②の手順から組み付ける。

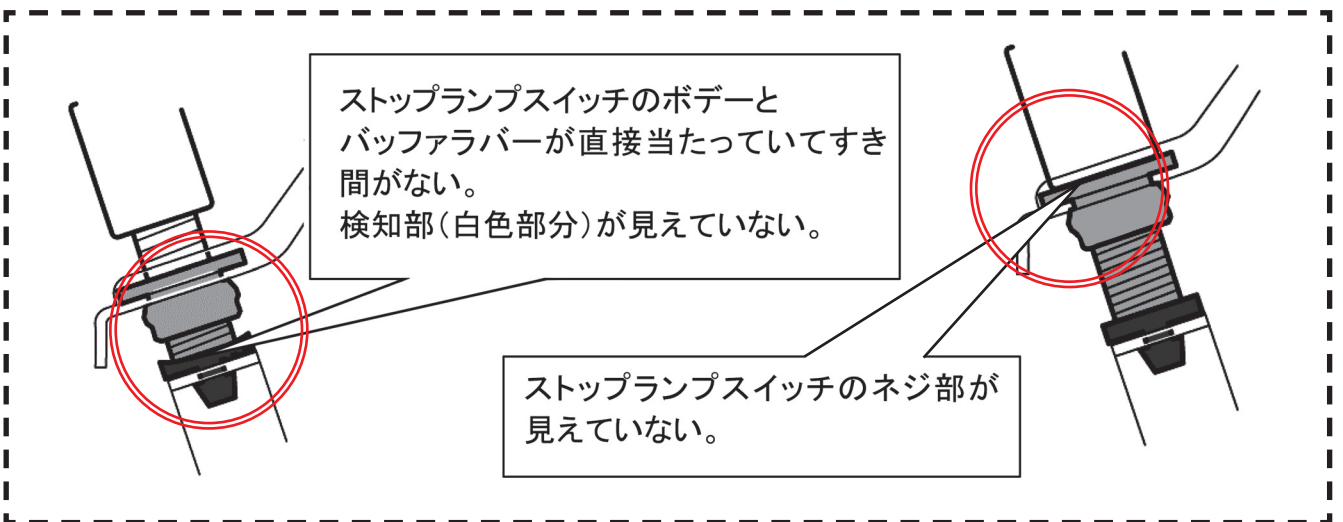
すき間の基準値:0.5~1.0mm

[ストップランプスイッチの検知部(白色部分)が見える程度]

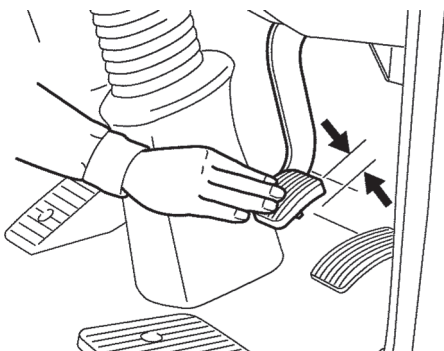
<注意>

測定時にブレーキペダルが下がらないように、手でブレーキペダルを押し上げてください。

[誤った組付け]



スイッチ交換を行った際には、ブレーキペダルの遊びとストップランプ点灯・消灯の確認もお願い致します。



ブレーキペダルの遊びが1.0mmより少ない場合は再度スイッチを②の手順から組み付ける。

ブレーキペダルを踏んだとき、ストップランプが点灯すること  
ブレーキペダルを離れたとき、ストップランプが消灯すること  
を確認する。